八幡門前の城を上杉右馬頭景勝公の家
の子孫六郎有重と申すものを城主に
定め置き給へ共揚北方の城方
の中を分け一陣を取り給へ共
いかねども五郎も有り家上出羽守少将義
光の五郎田舎揚と申すもの
重ねて二度迄攻寄せ
合戦の有り迎の上杉馬を乗り

言葉を聞き
孫六郎先陣にこぶれ
孫六郎揚
実ども
の鼻先ザット突込
ぶる
上杉
揚
上杉
揚
上杉
揚